

## 第6学年・学習プログラム「キリバスSDGs学習」

- ◆ 学年 第6学年
- ◆ 教科等 総合的な学習の時間を核とした教科横断的な学習  
(国語、社会、理科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間)
- ◆ 単元名 『夢と希望があふれる持続可能な社会をめざして  
～キリバスから日本、そして世界へ～』

### ◆ 目標

「SDGs 環境出前講話～キリバス編」をきっかけとして現代的諸課題に関心を持ち、調べたり交流したりする中で課題についての理解を深め、持続可能な社会のためにこれからの自分の生活の仕方や生き方を考えていこうとする態度を養う。

### ◆ 評価規準 ※総合的な学習の時間としての評価規準

- 選択した現代的諸課題の内容や解決の取組を知るとともに、個々の課題のつながりや持続可能な社会を目指していくことの大切さを理解している。

#### 【知識及び技能】

- 現代的諸課題について情報を集めて整理・分析してまとめ・表現、交流する過程において、多面的に考えたり関連付けたりしようとしている。

#### 【思考力・判断力・表現力等】

- キリバスの講話をきっかけとして現代的諸課題に関心を持ち、選択した課題について積極的に調べ、交流しようとしている。
- 学習をとおしてこれからの自分の生活の仕方や生き方を考えようとしている。

#### 【学びに向かう力、人間性等】

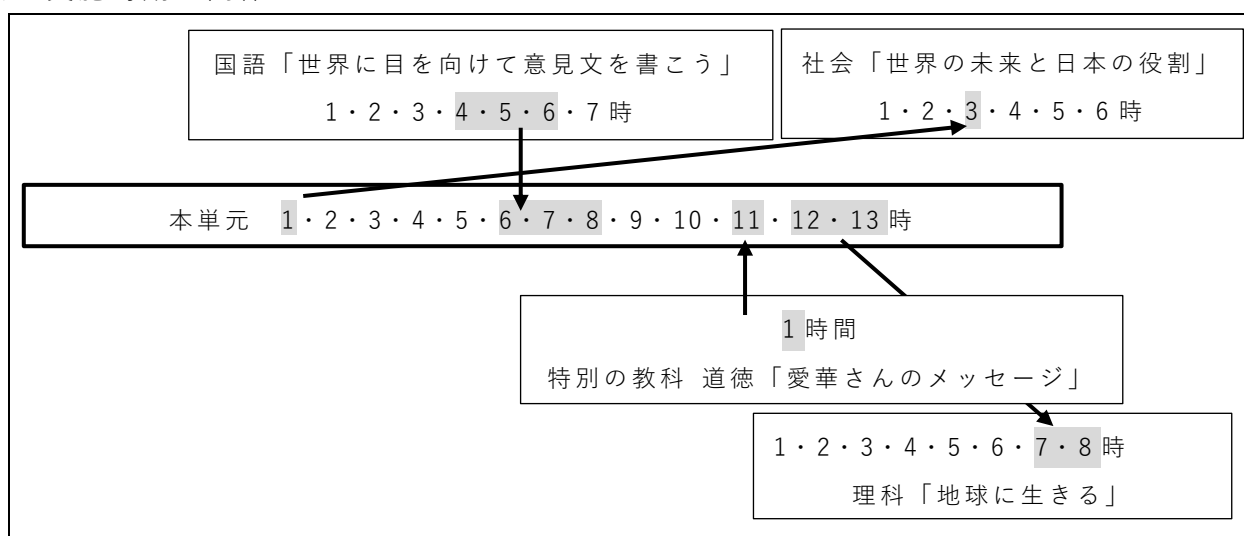
### ◆ 単元計画 13時間扱い（国語3、社会1、理科2、特別の教科 道徳1、総合6）

段階	主な学習活動	教科等	留意点等
第1次 出会い 出会い 3時間	○ SDGs について調べる。 (第1時) ・ 社会の教科書 (P104～P105) の資料を参考に「SDGs とは何か」、「解決に向けてどんな人たちがどんな活動をしているのか」について調べる。 ○ SDGs 環境出前講話～キリバス編に参加する。 (第2、3時) ・ 実際に活動しているケンタロ・オノ氏に	社会 1時間  総合 2時間	・ 社会「世界の未来と日本の役割」第3時 ・ 講話の事前学習としてSDGsに出会い、ケンタロ・オノ氏との出会いにつなげる。 ・ ネット上で講話を視聴することも可能である。

	<p>出会い、キリバスの魅力や生活、抱えている問題、気候変動などの話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「そうなんだ」「もっと知りたい」「どうしてだろう」「メッセージについて思ったこと」を感想にまとめる。</li> </ul>		<p>※YouTube「キリバスチャンネル」</p>
<p>第2次 設定 1時間</p>	<p>○ 学習問題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の講話の感想を聞き合い、同じ感想や違う感想があることを確かめ合う。(第4時)</li> <li>・共通の学習問題を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分たちが〇〇オになったときの2030年、キリバスと日本、そして世界が持続可能な社会になっているために、わたしたちはどうすればよいだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を基に現代的諸課題(SDGsの17の目標)の中から一つを個人の学習問題として選択する。</li> <li>・調査方法、情報モラル、まとめ方などの学習計画を立てる。</li> </ul>	<p>総合 1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの17の目標を資料として掲示する。</li> <li>・SDGsの17の目標の中から関心のあるものを一つ選択させる。17すべてを埋める必要はない。</li> </ul>
<p>第2次 調査 2時間</p>	<p>○ 予想を立てて調べ考える。(第5、6時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択した現代的諸課題の内容と取組についてキリバス、日本、世界、身の回りはどうか、図書資料やネットなどで調べる。</li> <li>・講師への質問や家族への聞き取り、友達へのアンケートなどを行い、課題を身近なものとして捉える。</li> <li>・資料を読み取り、考えを深める。</li> </ul>	<p>総合 1時間  国語 1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリバスの諸課題のビデオクリップをネット上で視聴することができる。質問と回答のやりとりも可能である。</li> <li>※YouTube「キリバスチャンネル」</li> <li>・国語「世界に目を向けて意見文を書こう」第4時。第1～3時は事前に学習しておく。</li> </ul>
<p>第2次 まとめ 2時間</p>	<p>○ 意見文にまとめる。(第7、8時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の教科書(P162)を参考に、文章の構成や展開を考える。</li> <li>・事実と感想、意見を区別して書く。</li> </ul>	<p>国語 2時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語「世界に目を向けて意見文を書こう」第5、6時</li> <li>・資料の出典を明記させる。(著作権)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を引用したり図表やグラフを用いたりして書き表し方を工夫する。</li> </ul>		
第2次 交流  2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見文を基に話し合う。 (第9、10時)</li> <li>①等質グループで意見文を発表し合う。</li> <li>②異質グループで意見文を発表し合う。</li> <li>③全体で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>感想や気付き</li> <li>課題同士のつながり</li> <li>キリバス、日本、世界のつながり</li> </ul> </li> </ul>	総合 2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症に対応して、話し合いの持ち方を工夫する。</li> <li>教師が誘導して無理にまとめるようなことはせず、話し合いの中での児童の気付きを大切にする。</li> </ul>
第3次 行動  3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会のための行動を考える。 (第11～13時)</li> <li>道徳の資料「愛華さんからのメッセージ」(P34～P38)を読み、「愛華さんからのメッセージはなんだろうか」を話し合う。</li> <li>理科の教科書(P198～P200)を読み、「今の自分にできること」、「これから先の自分にできそうなこと」を考える。</li> <li>友達同士、家族、学級(学年)、学校でできることを考える。</li> <li>自己評価を行って学習を振り返る。</li> <li>行動に移す。(課外)</li> </ul>	道徳 1時間  理科 2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳「愛華さんからのメッセージ」(1時間)</li> <li>理科「地球に生きる」第7、8時</li> <li>児童が考えたアイデアを行動につなげられるように支援する。</li> </ul>

◆ 実施時期の関係



◆ 教科横断的な学習の構成

本単元		他教科等
第1次	事前学習 (第1時) 社会1	社会「世界の未来と日本の役割」(6時間扱い) ・SDGsについて調べ、持続可能な社会を実現するための取組があることを理解し、これからの日本の取組を考える。(第3時)
	キリバス環境出前講話 (第2、3時) 総合2	
第2次	学習問題の設定 (第4時) 総合1	国語「世界に目を向けて意見文を書こう」 (7時間扱い) ・情報を収集して考えを深める。(第4時) ・主張を考え、効果的な資料の活用や構成を意識して論の組み立てを考える。(第5時) ・資料を効果的に活用して意見文を書く。(第6時)
	学習問題の調査 (第5、6時) 総合1、国語1	
	調査のまとめ (第7、8時) 国語2	特別の教科 道徳 (1時間扱い) 資料「愛華さんからのメッセージ」(自然愛護) ・地球を守るために自分にできることを考える。
	話し合い (第9、10時) 総合2	
第3次	行動を考える (第11～13時) 道徳1・理科2	理科「地球に生きる」(8時間扱い) ・SDGsの中で目標を達成するために自分でできることを考える。(第7時) ・人が地球で暮らし続けるために、自分たちでできることを考え、発表し合う。(第8時)

※東京書籍6年の教科書及び年間指導計画作成資料を参考に作成。

◆ 学習評価一覧表

教科等	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性
国語		<p>・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書き、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>・「書くこと」において、資料を引用したり図表やグラフを用いたりして、書き表し方を工夫している。</p>	
社会	<p>・地球環境の悪化を防ぎ、持続可能な社会を実現するために、世界や日本には現地の人々と協力して環境保全に努めている多くの人々がいることを理解している。</p>		
理科	<p>・人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。</p>	<p>・既習の内容や生活経験を基に、人が地球で暮らし続けるために、自分たちでできることについて考え、より妥当な考えをつくりだして、表現している。</p>	<p>・既習の内容を生かして、持続可能な開発目標を達成するために自分でできることを考えようとしている。</p>
特別な 教科 道徳			<p>・環境保全への思いを高め、自分にもできそうなことを一生懸命考えている。</p>

			(→「自己の生き方についての考えを深める」)
総合的な学習の時間	・ 選択した現代的諸課題の内容や解決の取組を知るとともに、個々の課題のつながりや持続可能な社会を目指していくことの大切さを理解している。	・ 現代的諸課題について情報を集めて整理・分析してまとめ・表現、交流する過程において、多面的に考えたり関連付けたりしようとしている。	・ キリバスの講話をきっかけとして現代的諸課題に関心を持ち、設定した課題について積極的に調べ、交流しようとしている。 ・ 学習をとおして、これからの自分の生活の仕方や生き方を考えようとしている。

◆ 学習形態

本単元は、各学校の実情に沿って様々な学習形態を取ることが可能である。

学習形態例

(時間)

教科等と時間 学習形態	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	社会	総合			国語			総合	道徳	理科			
学習形態 1：家庭学習 (授業時数 0 時間) 家庭学習プリントなどで取り上げ、自主学習の一つとして取り組ませる。													
学習形態 2：SDGs 環境出前講話 (授業時数 2 時間) 「SDGs 環境出前講話」を行い、朝自習などで感想や自分にできることを書かせる。		SDGs 環境出前講話 キ											
学習形態 3：事前 + 環境出前講話 (授業時数 3 時間) 「SDGs 環境出前講話」の事前学習 (1 時間) を行う。	○												

<p>学習形態 4：事前＋講話＋事後 （授業時数 4 時間） 「SDGs 環境出前講話」の事前学習（1 時間）と事後学習（1 時間）を行う。</p>	○								○			
<p>学習形態 5：事前＋講話＋事後 （授業時数 6 時間） 「SDGs 環境出前講話」の事前学習（1 時間）と事後学習（3 時間）を行う。</p>	○								○	○	○	
<p>学習形態 6：教科横断学習 （授業時数 13 時間） 第 1 時から第 13 時まですべてを行う。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○